

京都府の農林水産業の概要

特徴・取組

京都府は、北から南に長く、北部は日本海に面し、中部に山地、南部は平野が広がっている。また、中央に横たわっている山の影響により、南部は穏やかな気候であるが、日本海に面した北部は、秋から冬にかけて雨や雪がよく降り、厳しい気候になっている。

京都府は、伝統工芸品に関する製造業が主産業となっており、これらの基盤技術の蓄積が先端技術を生む土壌となっている。
また、第3次産業は、観光客の増加によりサービス業が増進している。

農地の約8割を水田が占め稲作が中心となっているが、ブランド京野菜の生産に力を入れるなど、収益性の高い農業を展開している。
森林は、府内総面積の約7割を占め、京都市北部から南丹地域にかけての林業地帯を中心に、磨丸太（みがきまるた）、丹波まつたけ、ほんしめじ等、商品価値の高い林産物が生産されている。
京都府の海では、暖水性のぶり、まぐろ、さわら等のほか、近年は、とり貝、あわび、いわがき等の養殖にも取り組んでいる。

宇治茶は、800年の歴史があり、てん茶（抹茶の原料）、煎茶、玉露などの様々なお茶が高評価を受けている。また、京都府では宇治茶の文化的景観のユネスコ世界文化遺産の登録に向けた取組とともに、「お茶の京都」として、宇治茶をテーマにお茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信に取り組んでいる。

京都府では、優れた京都の農林水産物の中でも、安心・安全と環境に配慮した生産方法に取り組み、品質を厳選したものを「京のブランド産品」として認証している。「京のブランド産品」には京野菜の代表選手である京みず菜やさわやかな甘みが持ち味の京たんご梨、肉厚で独特な甘みのある丹後とり貝など合計32品目が認証されている。

主な農林水産物

ねぎ

葉ねぎ（青葱）の代表である九条ねぎは、京都市、山城地域などで生産している。葉は軟らかく、葉の内部のぬめりが特徴。



みずな

江戸時代以前から京都を中心に栽培してきたとされる京野菜の代表格。

（収穫量全国3位）



なす

賀茂なす、京山科なす、千両なすなど、古くからある品種を生産している。
（収穫量全国11位）



なし

丹後地域で生産されている「京たんご梨」は、一つひとつを糖度センサーで測って、一定以上の糖度のあるものだけを、ブランド産品として認証しています。



くり

南丹及び中丹地域で生産している。この地域のくりは、丹波くりとして平安時代からの歴史を持つ。



茶

京都で抹茶、煎茶、玉露という日本独自の栽培法と製法を開発。

（荒茶生産量全国4位）



とうがらし

万願寺とうがらし、伏見とうがらし、田中とうがらしなど、独自の品種を生産し、京の食文化を支えている。（とうがらし（辛味種）1位）



黒大豆・小豆

丹波黒大豆、丹波大納言小豆など中山間地域を中心に生産している。丹波黒大豆から生まれた枝豆も有名。
（小豆：収穫量全国6位）



たけのこ

京たけのこは京都西山一帯で多く栽培している。

（生産量全国3位）



とり貝

舞鶴湾、宮津湾、久美浜湾で養殖している。全国に先駆けて稚貝を生産・育成する技術を開発。



京都府内の各地域における農林水産物

丹後地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、みずな、かんしょ、トマト、メロン、ねぎ、ごぼう、日本なし、茶、肉用牛

【林産物】木材、木炭

【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あまだい、かき(養殖)、とり貝(養殖)、くろまぐろ

中丹地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、えだまめ、万願寺とうがらし、みずな、きゅうり、茶、くり、肉用牛、乳用牛、鶏卵、ブロイラー

【林産物】木材、まつたけ

【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あゆ、かき(養殖)、とり貝(養殖)、くろまぐろ

南丹地域

【農畜産物】水稲、黒大豆、小豆、みずな、伏見とうがらし、ねぎ、えだまめ、かぶ、さといも、くり、肉用牛、乳用牛、豚、鶏卵

【林産物】木材、まつたけ、ほんしめじ

【水産物】あゆ

京都市・山城地域

【農産物】水稲、茶、ねぎ、なす、ほうれんそう、こまつな、しそ、トマト、いちご、伏見とうがらし、花菜、だいこん、にんじん、さといも、イチジク、かき、はなしょうぶ、カラー、こかぶ

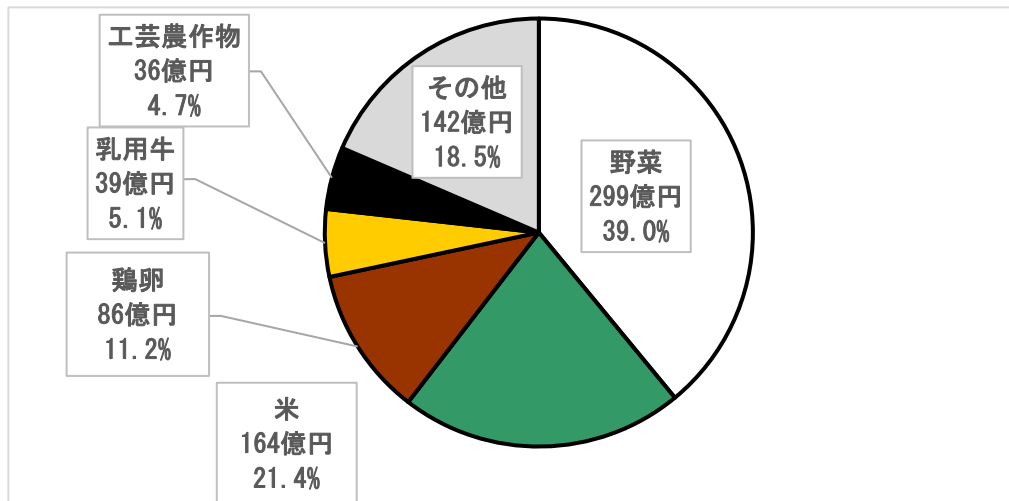
【林産物】北山杉、木材、竹材、しいたけ、たけのこ

【水産物】あゆ

京 都 府 の 農 業 (1)

- ・農業産出額は766億円で全国37位。うち米が164億円（21.4%）、野菜が299億円（39.0%）、畜産が175億円（22.8%）。
- ・農畜産物の生産状況は、とうがらし（辛味種）が全国1位、みずなが3位、茶（生葉）（主産県）、茶（荒茶）（主産県）が4位、かぶが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	京 都 府	全 国	全国順位
茶（生葉）（主産県）	収穫量	R6	13,700 t	319,300 t	4
茶（荒茶）（主産県）	生産量	R6	2,780 t	66,900 t	4
小豆	収穫量	R6	80 t	46,700 t	6
みずな	収穫量	R5	2,500 t	36,100 t	3
かぶ	収穫量	R5	3,940 t	98,600 t	5
こまつな	収穫量	R5	3,580 t	120,900 t	8
なす	収穫量	R5	6,070 t	288,800 t	11
イチジク	収穫量	R4	512 t	9,891 t	6
とうがらし（辛味種）	収穫量	R4	44 t	236 t	1 *
なばな（花）	収穫量	R4	118 t	3,830 t	6

出典：「作物統計」、「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	京都府の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	766 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	37
米	164 億円 (21.4)	15,193 億円 (16.0)	32
麦類	0 億円	678 億円	25 *
雑穀	0 億円	77 億円	30
豆類	3 億円	572 億円	22
いも類	5 億円	2,301 億円	38
野菜	299 億円 (39.0)	23,243 億円 (24.5)	26
果実	22 億円 (2.9)	9,590 億円 (10.1)	44
花き	14 億円	3,522 億円	43
工芸農作物	36 億円	1,467 億円	7
その他作物	7 億円	585 億円	18 *
畜産	175 億円 (22.8)	37,212 億円 (39.2)	36
肉用牛	15 億円	7,696 億円	41
乳用牛	39 億円	9,249 億円	31
生乳	37 億円	8,310 億円	31
豚	12 億円	7,194 億円	40
鶏	108 億円	12,033 億円	30
鶏卵	86 億円	7,413 億円	26
ブロイラー	16 億円	4,471 億円	31 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	29
加工農産物	40 億円	513 億円	4

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

京 都 府 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は2万9,000haで全国39位。うち田が2万2,600ha、畑が6,480ha。
- ・農業経営体数は1万4,181経営体で全国38位。うち法人経営体が333経営体で38位。
- ・認定農業者数は1,473経営体で全国39位。うち法人数が285法人で38位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国16位、経営体数は20経営体で14位。

耕地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
耕地面積	29,000 ha	4,272,000 ha	39
田	22,600 ha	2,319,000 ha	34
畑	6,480 ha	1,952,000 ha	38
普通畑	3,640 ha	1,118,000 ha	39
樹園地	2,780 ha	248,600 ha	28
牧草地	68 ha	585,900 ha	37
参考) 総土地面積	4,612.21 km ²	377,975.68 km ²	31

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
荒廃農地面積	576 ha	256,676 ha	44

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
農業経営体数	14,181 経営体	1,075,705 経営体	38
法人経営体	333 経営体	30,707 経営体	38
総農家数	24,953 戸	1,747,079 戸	35
販売農家	13,616 戸	1,027,892 戸	37
参考) 世帯総数	1,190,527 世帯	55,830,154 世帯	12
集落営農数	317 集落営農	13,998 集落営農	19

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
担い手への集積面積	7,824 ha	2,593,345 ha	42
集積率	26.6 %	60.4 %	41

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	15,130 人	1,363,038 人	38
男	9,860 人	822,144 人	38
女	5,270 人	540,894 人	39
65歳以上	11,667 人	948,621 人	38
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.1 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,473 経営体	216,784 経営体	39
法人数	285 法人	29,128 法人	38
参考) 人口総数	2,578,087 人	126,146,099 人	13

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
農産加工	総額 6,882 百万円 事業体数 430 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	37 29
農産物直売所	総額 12,111 百万円 事業体数 340 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	41 27
観光農園	総額 354 百万円 経営体数 60 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	28 21
農家民宿	総額 99 百万円 経営体数 20 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	16 * 14
農家レストラン	総額 422 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	34 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

京 都 府 の 林 業

- ・ 林業産出額は25.7億円で全国36位。うち木材生産が15.9億円、栽培きのこ類生産が9.1億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国28位、たけのこが全国3位、竹炭が5位。

林業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業産出額	25.7 億円	5,562.5 億円	36
木材生産	15.9 億円	3,257.0 億円	32
栽培きのこ類生産	9.1 億円	2,199.2 億円	35

出典：「令和5年林業産出額」

林野面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林野面積	342,293 ha	24,770,201 ha	27
国有林	7,037 ha	7,153,338 ha	44
民有林	335,256 ha	17,616,863 ha	23
人工林面積	111,676 ha	10,133,111 ha	35

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業経営体数	619 経営体	34,001 経営体	22
法人経営体	119 経営体	4,093 経営体	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
素材生産量	169 千m ³	20,647 千m ³	28
針葉樹	146 千m ³	18,926 千m ³	29 *
すぎ	112 千m ³	11,917 千m ³	27
ひのき	33 千m ³	3,180 千m ³	24 *
広葉樹	23 千m ³	1,721 千m ³	18 *
竹炭	生産量 4 t	526 t	5 *
たけのこ	生産量 2,093 t	16,528 t	3 *
木酢液等	生産量 970 l	1,711,055 l	15 *
薪	生産量 2,110 層積m ³	100,167 層積m ³	13 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
製材工場数	48 工場	3,749 工場	37
製材用素材の入荷があった工場数	48 工場	3,722 工場	37
国産材のみ	25 工場	3,116 工場	41
国産材と輸入材	23 工場	511 工場	6

出典：「令和5年木材統計」

京 都 府 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は55億円で全国37位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさわら類が全国2位、にぎす類が6位、海面養殖業のわかめ類が15位、かき類が16位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が2億円で全国7位、経営体数は20経営体で8位。

漁業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	55 億円	15,265 億円	37
海 面 漁 業	41 億円	9,534 億円	34
海 面 養 殖 業	14 億円	5,731 億円	27

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	545 経営体	65,662 経営体	31
内水面漁業経営体数	10 経営体	4,076 経営体	45

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	773 人	121,389 人	37
男	750 人	109,757 人	37
女	23 人	11,632 人	35

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
漁船隻数	836 隻	109,283 隻	31
動力漁船	353 隻	58,906 隻	34

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	10,088 t	3,777,921 t	34 *
海面漁業漁獲量	9,370 t	2,926,411 t	34
さわら類	1,266 t	10,730 t	2
にぎす類	128 t	2,137	6 *
海面養殖業収穫量	718 t	851,509 t	29 *
かき類	216 t	149,064 t	16 *
わかめ類	44 t	49,588 t	15 *
内水面漁業・養殖業生産量	x t	51,908 t	- *
内水面漁業漁獲量	7 t	21,567 t	31 *
あゆ	6 t	1,697 t	18 *
内水面養殖業収穫量	x t	30,341 t	- *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		京 都 府	全 国	全国順位
水産加工	総額	1,783 百万円	179,159 百万円	21 *
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体	25
水産物直売所	総額	99 百万円	34,988 百万円	32 *
	事業体数	10 事業体	810 事業体	20
漁家民宿	総額	243 百万円	5,389 百万円	7 *
	経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	総額	113 百万円	13,249 百万円	22 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

京都府の農林水産業の話題等（１）

（一社）セイラーズ フォーザシー日本支局と包括連携協定を締結

京都府では、府内の豊かな水産物の安定的な供給を図るため、令和6年11月8日に、水産資源の持続可能な消費の啓発や海洋資源の改善に取り組む「（一社）セイラーズフォーザシー日本支局」と包括連携協定を締結しました。

本協定に基づき、「海洋環境保全」や「海洋水産資源の持続的活用」などの課題について、フードテックの活用を始め、教育や観光、文化などの幅広い側面から連携して解決を目指します。

取組の第一弾として、京都府の持続可能な水産物をまとめた「ブルーシーフードガイド 京都府版」を同日に発表しました。ブルーシーフードガイドは資源量、漁業の生態系への影響、漁業の管理体制などの基準を満たした持続可能な水産物を掲載したガイドであり、本ガイドに掲載された水産物を消費者の方々に優先的に食べていただくことによって枯渇している水産物の回復に役立てることを目的としています。

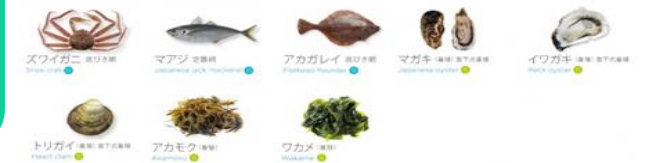
今後、ガイドに掲載された持続可能な水産物の消費促進に向けた情報発信や府内水産業の振興に取り組んでいきたいと考えています。



Blue Seafood Guide

ブルーシーフードガイド 京都府版 2025

京都府でとれるサステナブルな水産物のリストです。



「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を策定

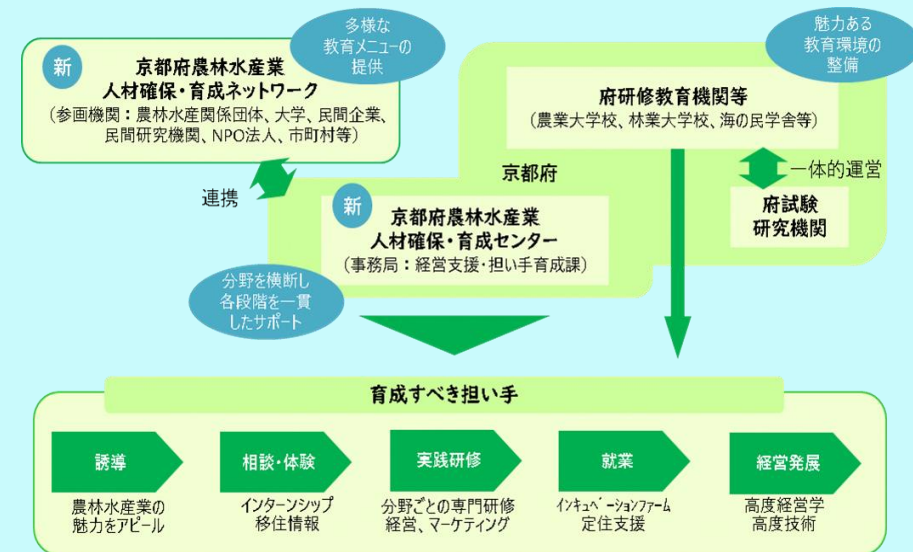
農林水産業・農山漁村を支える担い手の減少・高齢化が深刻化する中、今後の育成すべき担い手像を明らかにするとともに、産学公民の多様な主体と連携し、分野を横断した効果的な人材確保・育成施策を推進することにより、農林水産業の成長産業化と農山漁村の維持・活性化を図るため、令和7年3月に「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を策定しました。（計画期間：令和7～11年度）

育成すべき担い手像

- 農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材
- 半農半Xなど様々な形で農林水産業へ関わり、農山漁村を支える多様な人材
- 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現できる人材

施策の方向性：推進体制の整備

- 「京都府農林水産業人材確保・育成センター」の設置
- 「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」の設立



京都府の農林水産業の話題等（２）

「京都府みどり認定ロゴマーク」を作成

京都府では、みどりの食料システム法に基づき、土づくり・化学肥料・農薬の使用低減など、環境負荷低減の活動に取り組む農林漁業者を認定する京都府みどり認定を令和５年度からスタートしています。令和７年３月末時点の認定者数は３６８名となるなど、農業での環境負荷低減の取組が広がっています。

こうした状況の中、令和６年７月に、「京都府みどり認定」を受けた農林水産事業者が実施計画に基づき生産した農林水産物（品目）を販売する際に、認定を受けたことを表示できるよう、「京都府みどり認定ロゴマーク」を新たに作成しました。

今後は、ロゴマークの活用を促進することで、「京都府みどり認定」を受けた農林水産物の消費者へのＰＲや高付加価値化を図り、環境にやさしい農業の取組の拡大を目指します。



新マークで環境にやさしい農業を推進

府有林でＪ－クレジットの取組を開始

京都府では、約7,000haの森林を府有林として管理しており、間伐等の森林整備を実施しています。

このたび、国の「J-クレジット制度」を活用し、森林の適切な管理・整備による温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として販売するための取組を開始しました。

これにより、京都府は府有林の森林整備に必要な財源を安定的に確保でき、さらなる森林整備を進められ、企業等のクレジット購入者は、得られたクレジットによりカーボン・オフセットを進めることができ、環境貢献へのPRに活用できます。

現在、「J-クレジット制度」に係るプロジェクトの登録を受けたところであり、令和７年度末のクレジット認証・発行に向けて手続きを進めてるところです。

